

AIの活用シーンとユーザーが抱える 課題

～情報検索から心のケアまで？AIの活用の実態～

アンケート調査結果 2025年5月

企業ロゴ

調査概要

📅 調査方法

インターネットによるアンケート調査

📅 調査期間

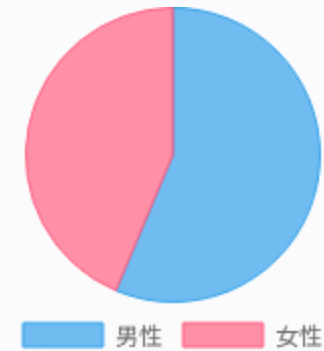
2025年5月20日 ～ 2025年5月25日

👥 調査母集団

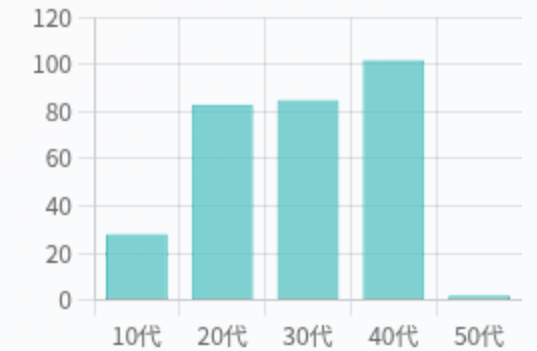
300人

📊 回答者属性

性別

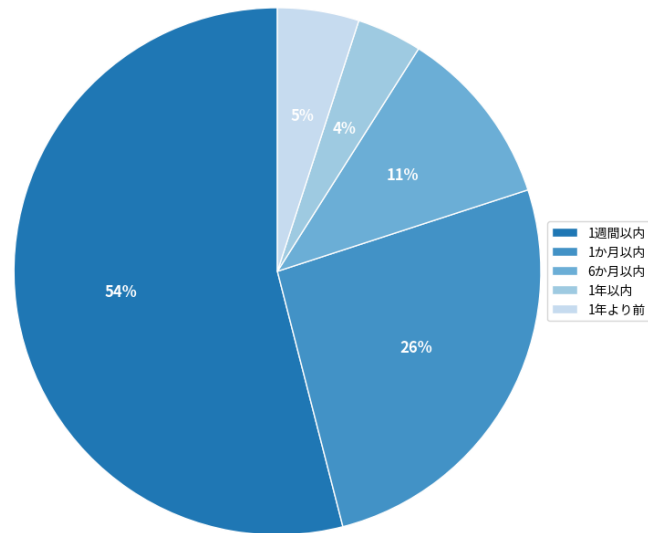


年齢層

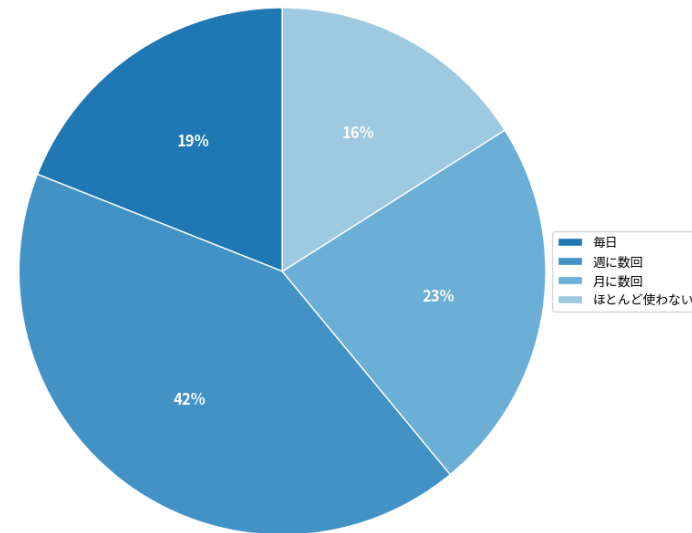


AIの利用状況

直近のAI利用時期



AI利用頻度

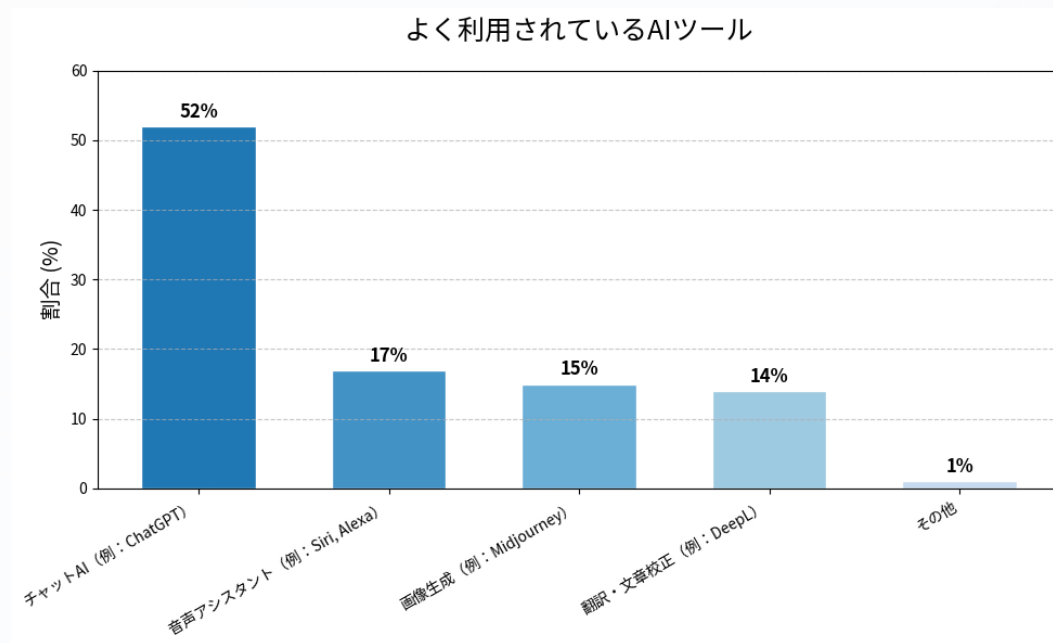


利用状況のポイント

- 回答者の**80%**が**1か月以内**にAIを利用している
- 約**6割（61%）**が**週1回以上**の頻度でAIを日常的に活用
- AIが日常生活や業務の中で浸透しつつある現状が明らか

よく利用されているAIツール

✂ 利用率（複数選択可）



主要なAIツールの特徴

💬 チャットAI

会話形式で様々なタスクに対応可能。回答者の**半数以上（52%）**が利用

🖼 画像生成AI

テキストプロンプトから画像を自動生成。クリエイティブ活動に寄与

🎤 音声アシスタント

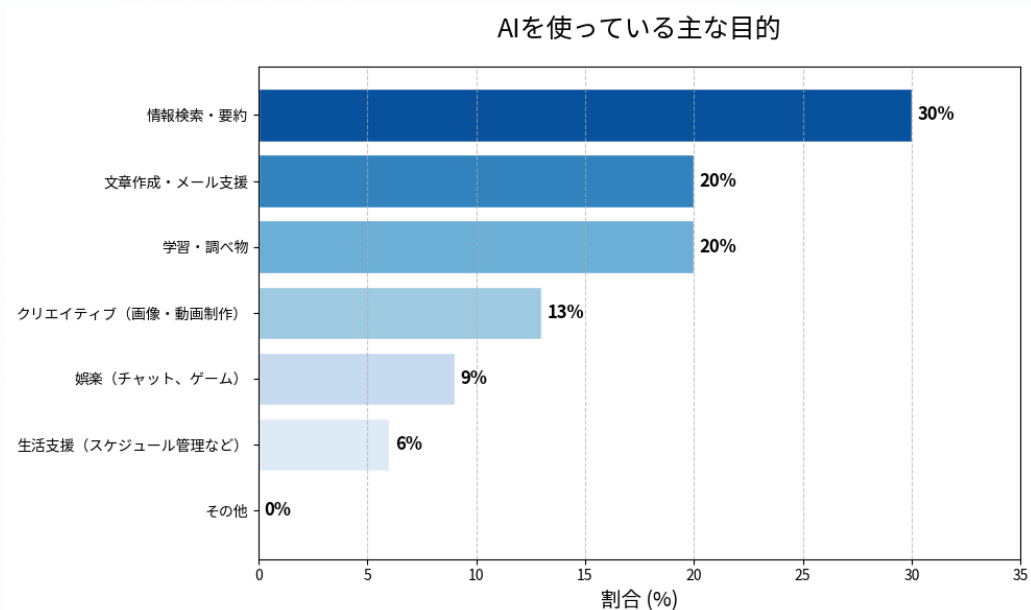
ハンズフリーで操作可能。スマートホームや日常的な質問に活用

🗨 翻訳・文章校正

言語間の翻訳や文章の品質向上に活用。ビジネス文書作成などに貢献

AIの利用目的

◎ 主な利用目的（複数選択可）



≡ 主な用途の特徴



情報検索・要約（30%）

Google検索より迅速かつ正確な回答取得、情報の要約



文章作成・メール支援（20%）

ビジネスメール、レポート作成、文章の校正



学習・調べ物（20%）

知識の獲得、問題解決、専門的なトピックの学習



クリエイティブ制作（13%）

画像生成、デザイン補助、アイデア創出



娯楽・その他（15%）

会話相手、ゲーム、生活支援（スケジュール管理など）

AIの活用シーン

Q5の自由記述：「AI利用で最も役立っていると感じる場面」から抽出

調べ物・情報収集

- ✓ 検索より迅速かつ的確な回答
- ✓ 膨大な情報の要約
- ✓ 外国語情報の翻訳・要約
- ✓ 専門知識についての質問

文章作成・翻訳

- ✓ ビジネスメールの作成
- ✓ レポート・資料の作成
- ✓ 文章校正・添削
- ✓ 英語メール・翻訳

プログラミング支援

- ✓ コード生成・修正
- ✓ SQLクエリの作成
- ✓ ExcelのVBA・マクロ
- ✓ エラー対応・デバッグ

クリエイティブ制作

- ✓ 画像・イラスト生成
- ✓ アイデア出し・発想支援
- ✓ ブログ用コンテンツ作成
- ✓ 画像と文章の組み合わせ

心のケア・会話相手

- ✓ 悩み相談・精神的サポート
- ✓ 寄り添った対応
- ✓ 会話のパートナー
- ✓ エンターテインメント

定型作業の効率化

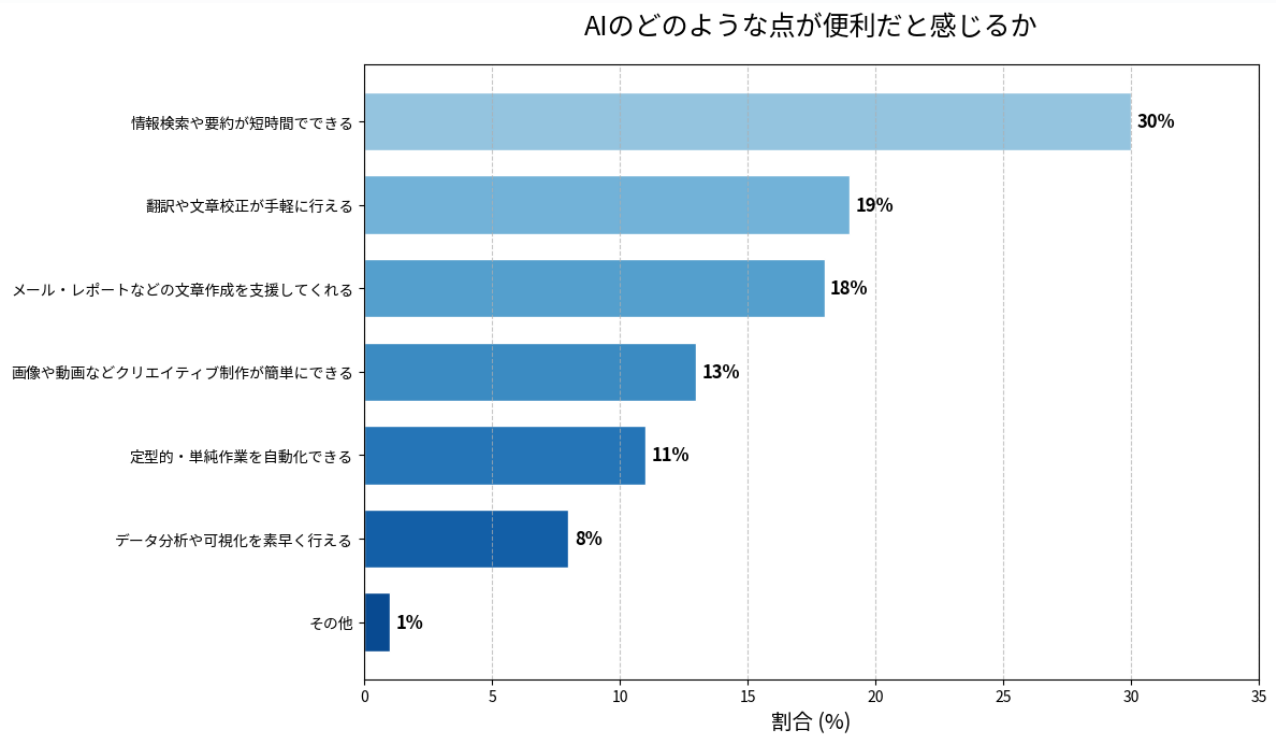
- ✓ 議事録作成
- ✓ スケジュール管理
- ✓ 買い物リスト作成
- ✓ データ入力・変換

活用シーンから見える傾向

情報収集や文書作成といった基本的な用途だけでなく、専門的な作業支援や心理的サポートまで、AIの活用範囲が急速に拡大している。特に**時間短縮**と**効率化**に価値を感じるユーザーが多い。

AIの便利な点（利便性）

AIの便利だと感じる点（複数選択可）



情報処理の高速化

短時間で膨大な情報にアクセスし、要約・整理できることにユーザーは高い価値を感じている



言語処理の効率化

翻訳や文章作成支援など、言語関連タスクの負担軽減が2番目に大きな利点として評価されている



創造性と自動化

クリエイティブ制作と単純作業の自動化を合わせると約24%を占め、AIの多様な活用価値が見られる

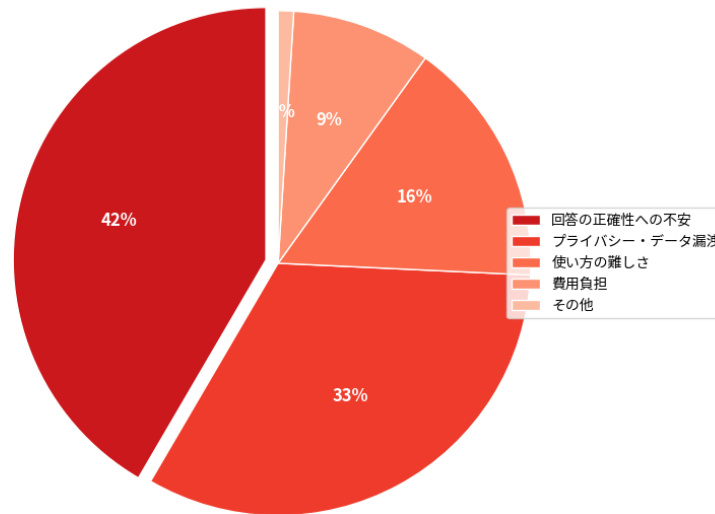
利便性の総括

AIの利便性は主に**時間短縮**、**作業効率化**、**専門性の補完**の3つの価値に集約される。特に情報検索・要約機能は全体の30%を占め、AIの最も価値ある機能として高く評価されている。

AIの課題・デメリット

⚠ AI利用で感じているデメリットや課題

AI利用で感じているデメリットや課題



回答の正確性

最も大きな懸念は回答の信頼性。AIが提供する情報の正確さに不安を感じるユーザーが多い



プライバシー・セキュリティ

AIに提供する個人情報やデータの扱いに関する懸念。特に機密情報の漏洩リスクを懸念



使いやすさと費用

AIツールの複雑さに困難を感じるユーザーが16%。また、高機能AIの費用負担も課題として浮上

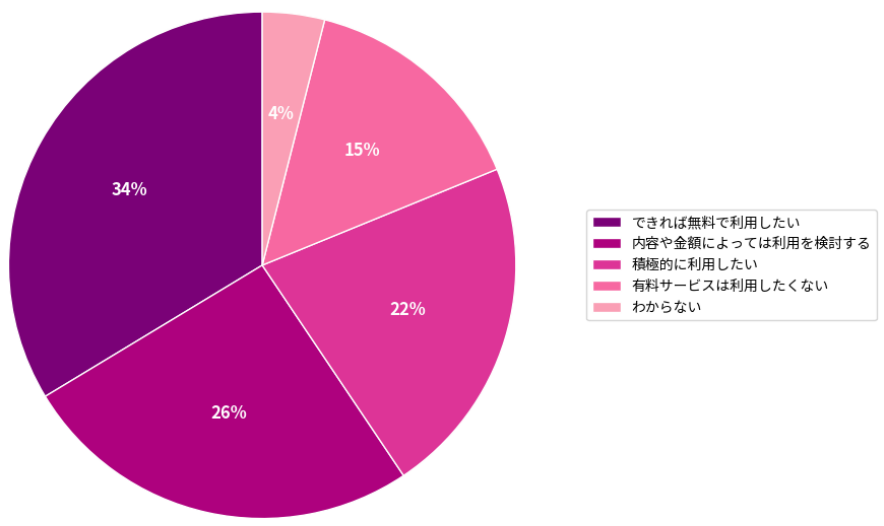
課題解決の方向性

AIの社会実装を進めるには、**正確性の向上とセキュリティ対策の強化**が最優先課題。また、使いやすさの改善とコスト最適化も重要な要素となる。

今後の有料AIサービス利用意向

有料AIサービスの利用意向

今後、有料のAIサービスを利用したいと思うか



積極派 (22%)

AIの価値を高く評価し、より高度な機能やサービスに料金を支払うことに前向き。高品質なコンテンツと機能が重要。

条件次第派 (26%)

サービス内容や価格により判断する柔軟な姿勢。費用対効果を重視し、明確な価値提供が求められる層。

無料希望派 (34%)

現在の無料サービスで満足し、追加費用をかけたくないユーザー。フリーミアムモデルが効果的な可能性あり。

否定派 (15%) / 未定派 (4%)

有料化に否定的なユーザーや判断を保留するユーザーも一定数存在。無料枠の維持も重要な戦略となる。

有料サービス戦略への示唆

有料サービスの普及には**明確な付加価値**と**柔軟な価格設定**が重要。約半数（47%）が条件付きでの有料サービス利用に前向きであり、無料・有料の**適切な機能分け**が鍵となる。

今後期待するAI

Q9：「今後、どのようなAIが出ると良いと思いますか？」の自由記述から得られた期待

今後期待するAI

-  **正確性・信頼性の向上**
例：正確な情報を素早く出してくれる
-  **人間性・対話能力の向上**
例：人間と遜色なく会話できる
-  **生活支援・パーソナリ化**
例：パーソナライズされた生活支援
-  **専門分野への特化**
例：各種法律に特化した専門AI
-  **クリエイティブ分野の進化**
例：要望に合った画像生成の精度向上
-  **操作性・アクセシビリティ向上**
例：初心者や高齢者でも利用しやすく
-  **コスト・アクセスの改善**
例：高精度サービスの低価格化



正確性・信頼性の向上

AIの情報精度と信頼性向上への期待が多数

「正確な情報を素早く出してくれるAI」
「100%正確な情報を出力するAI」



人間性・対話能力の向上

より人間らしく自然な会話ができるAIへの要望

「人間と遜色なく会話できたらいい」
「友達や恋人のようなAI」



生活支援・パーソナリ化

個人の生活や好みに合わせたサポートへの期待

「パーソナライズされた生活支援をしてくれるAI」
「執事のようなAI」



専門分野への特化

特定の分野やタスクに特化した専門的なAIへの要望

「各種法律を読み込み、正確な回答を導き出すAI」
「職種によって特化したAI」



クリエイティブ分野の進化

芸術・エンタメ制作のさらなる高度化への期待

「要望に合った画像生成の精度向上」
「漫画のペン入れをしてくれるAI」



使いやすさ・アクセス改善

より簡単に・より手頃に利用できるAIへの期待

「初心者や高齢者でも利用しやすいAI」
「高精度かつ無料で使えるAI」

今後のAI開発への示唆

ユーザーは**正確で信頼できる情報提供**を最重視しつつ、**人間らしい対話能力**や**パーソナライズされた支援**を求めている。また、特定分野の専門性向上と誰もが使いやすいインターフェースの両立が今後の課題と言える。

まとめ

AIの現状

- ✓ 回答者の80%が1か月以内にAIを利用、61%が週1回以上利用
- ✓ チャットAI（52%）が最も普及、音声アシスタント（17%）や画像生成（15%）も一定の利用
- ✓ 主な用途は情報検索（30%）、文章作成（20%）、学習（20%）
- ✓ 短時間での情報処理や文章作成支援に高い利便性

現在の課題

- ✗ 回答の正確性への不安（42%）が最大の懸念
- ✗ プライバシー・データ漏洩（33%）への不安も依然として大きい
- ✗ 使い方の難しさ（16%）や費用負担（9%）も課題

今後のAI発展に向けた示唆

AIはすでに多くのユーザーの生活に浸透し始めていますが、その真価を発揮するためには情報の信頼性向上とセキュリティ強化が不可欠です。ユーザーが求める人間らしい対話能力やパーソナルな支援を実現することで、AIは単なるツールから生活・仕事のパートナーへと進化していくでしょう。

ユーザーが期待するAIの未来像

- ★ 正確で信頼できる情報提供：事実とフェイクを明確に区別
- ★ 人間らしい対話能力：共感や理解を伴うコミュニケーション
- ★ パーソナル化された生活支援：個人の好みや状況に合わせた支援
- ★ 専門性の向上：特定分野に精通した高度な支援機能
- ★ 使いやすさとアクセシビリティ：誰もが簡単に使える直感的設計

有料サービスへの展望

- ➡ 47%が条件付きでの有料サービス利用に前向き
- ➡ 価格と価値のバランスが市場拡大の鍵に